

## 継続した取組は地域の結束力の賜物！ 被害対策と捕獲の両輪で獣害対策に取り組む！

### いなべ市川原集落

#### 集落（地区）の概要

- 所在地：いなべ市北勢町川原
- 戸数：143戸
- 農地の状況  
水田47ha、畑地2ha、樹園地1ha  
(主な作物：水稻)
- 主な加害鳥獣  
ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ



#### ●主な取組

当該集落は、中山間地域にある傾斜が大きく農業生産条件が厳しい地域である。集落内の「とも」と呼ばれる小字から選出されたメンバーにより結成された「川原を守る会」が集落内の意見を取りまとめ、H16年からH28年に総延長11kmに渡る防護柵を集落内に設置するとともに、補修作業を担い、シカとイノシシの被害防止対策を継続して行っている。また、メンバーが率先して狩猟免許を取得し結成した集落内の「捕獲隊」が活動し、防護柵による侵入防止と捕獲の両輪で獣害対策を進めている。さらに、放任果樹の撤去処分や追い払い活動等の集落ぐるみによるニホンザル対策にも取り組んでいる。こうした取組の結果、農作物の被害金額が減少し、集落では被害軽減を実感しているほか、飼料米の規模拡大や麦作継続等による収益向上にも結び付いている。